

共創テーマ2

だれもが働きがいを感じられる社会を創ろう！

障がい者雇用を取り巻く問題

- 障がい者就労支援施設では「福祉」の観点を重視
 - ・障がい者の可能性を奪っている
 - ・保護的で、閉鎖的な空間
 - ・人材育成に乏しい 付加価値が見いだせず低賃金
- 一般企業は「労働力」の観点を重視
 - ・適性を判断せず、受入態勢も整っていない
 - ・担ってもらう仕事の“切り出し”が困難
 - ・一般従業員含め「働きがい」軽視
- 障がい者と企業のマッチングサイトは、
一方通行の発信で、お互いの適性が判断しにくい

⇒お互い求めるモノサシが異なるため mismatch

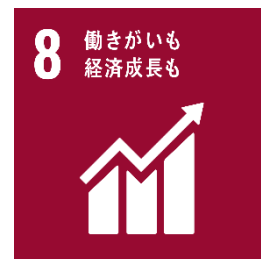
だれもが働きがいを感じられる社会を創ろう！

目標

従来の「福祉」としての観点に「労働力」の観点を加え、

- 障がい者を含む多様な人々が働きがいを持つことのできる環境づくり
- 障がい者就労支援施設における新たな商品やサービスの提供、その付加価値を高めるための仕組みづくり
etc...

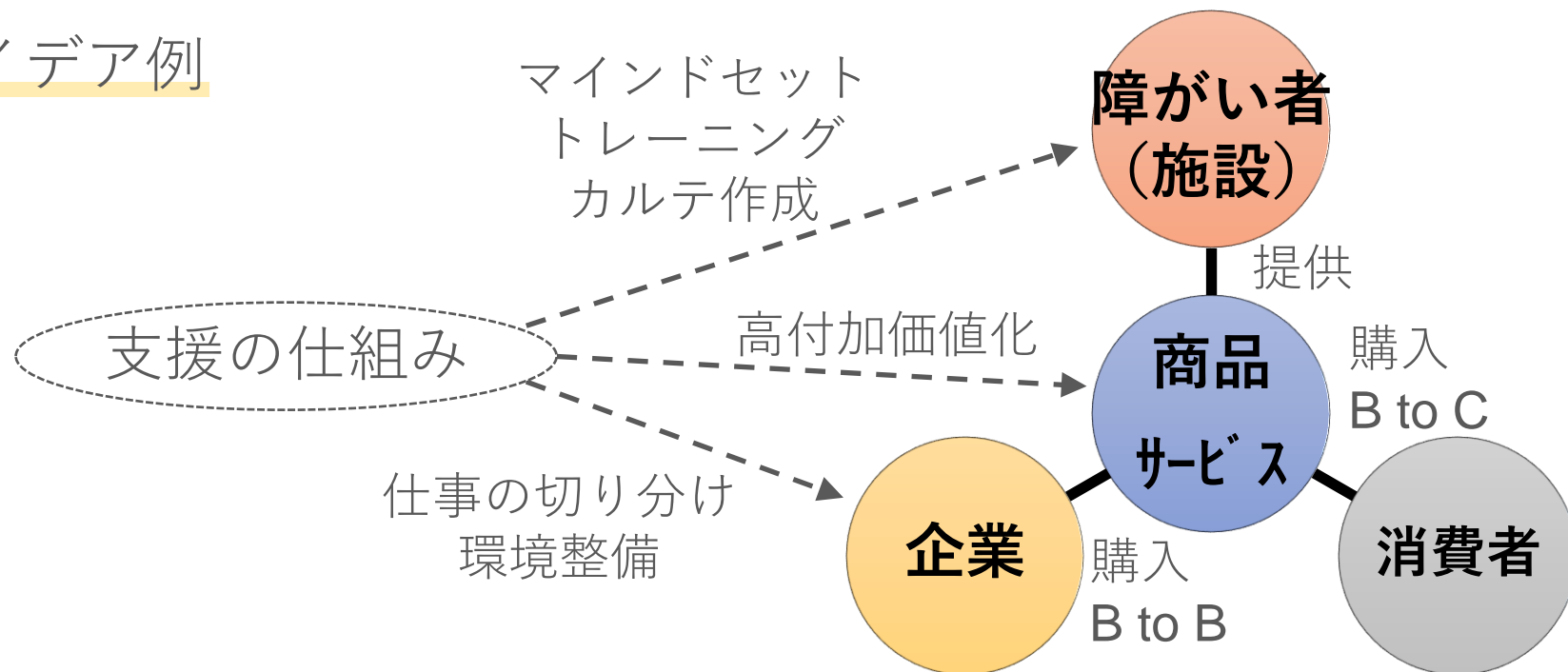
⇒**幸福度の高い社会**の形成を目指します。



共創テーマ2

だれもが働きがいを感じられる社会を創ろう！

アイデア例



幸福度の高い職場を目指すための指標の検討

企業評価を企業利益だけで判断するのではなく、

障がい者と企業のお互いがいいね！ と思えるモノサシ（従業員の幸福度等）を設定⇒一般従業員含め**だれもが**やりがいをもち幸せな職場環境の形成により社会全体の幸福度を上げる。